



# 1月 にじいろだより

令和4年1月4日(火)  
尚徳福祉会 井荻保育園

新年あけましておめでとうございます。年末年始ならではのイベントを経験して、たくさんの土産話を持って登園してきた子どもたち。「先生、あのね!」と楽しかったことや面白かったこと、驚いたことなどその子なりの言葉で一生懸命伝えようとしてくれる姿がとてもかわいいです。

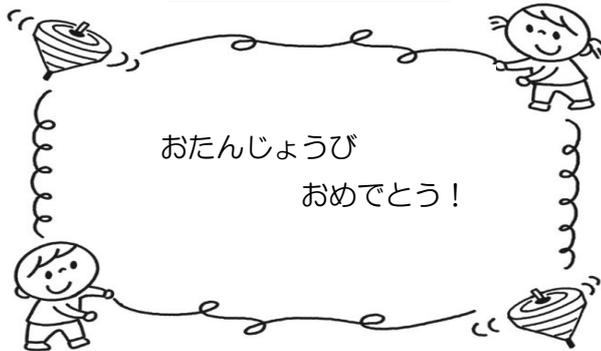
今まで食材を触ることから始まってきた食育も、栽培に繋がり、日々の食事の中での会話にも自然と表れるようになってきました。『旬』もその一つですが、最近は『料理』にも関心が広がってきていることを感じます。「ごはん(米)ってどうやってつくる(炊く)んだらうね~?」「この給食おいしい!味はなにでつけているんだらう」と聞いてくる姿もありますよ。「みかんって英語でなんて言うの?」と英語への関心にも繋がっています(マンダリンオレンジというそうです)。子どもたちが興味・関心を持ったことを拾い上げて今年も更なる成長に繋げる手伝いができたら嬉しいと思います、またそう願う担任です。

## ねらい

- 良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。
- 生活の中で、様々な文化や伝統に親しむ



## 1月生まれのお友だち



## お着替えカゴについて

- 毎週月曜日、ホールに出しているお着替えカゴ(度々出し忘れがあって申し訳ありません)ですが、1月から子どもたちに管理をしてもらう練習をしていきます。(完全部屋管理にしようと考えています。)まだ難しい部分もあるかと思っておりますので、保育者もチェックはしますが、保護者の皆様も帰りなどチェックしていただくと助かります。よろしくお願いいたします。

## ♪クラスエピソード♪

お部屋で遊んでいるときに起きた子ども同士のトラブルのお話です。

Aくんが使っていた段ボールの間仕切りがほしいBくん。子ども同士で交渉して「長い針がピンクになったら交代ね」と約束していました。その後Aくんが別の遊びを始めたことと時間が来たことからBくんが使い始めました。ところが、Aくんは「使っていたから」と涙ながら取り戻そうとします(どうやら少し離れていただけなことから約束はしたもののいざ使われると納得できなくなったようです)。話し合うもののBくんも段々と声が大きくなり怒り出します。見かねたCくんが間に入り取り持とうとしますが、ついAくんをつかむ手に力が入りたたかれてしまいました。ここで保育者が間に入り話を聞きました。それぞれの気持ちを聞き、受け止めてどうするかどうしたいか話しをすると「ギュっとされて悲しかった」「一緒に使いたかった」「お話を聞いてほしかった」などそれぞれの気持ちを伝え合うことができました一緒に遊ぶことができました。

→個人で思う正しい、正しくないの違いがあるかもしれません。ごめんねと言った方が良かったらうと思う場面もあるかもしれません。でもなるべく子ども同士で話し合い解決し、そんな経験を積み重ねることで相手の思いに気付ける子、その上で色々な場面で自分の思いを伝えられる子になってほしいと個人的には願い関わりを見守りました。生きて経験の中で今年も大きく成長してほしいです。